石川町道の駅通信

第　７　号
令和７年５月
【発行者】
石川町道の駅準備室
TEL26-9155（直）

道の駅令和８年７月オープン予定

本町では、産業の活性化や町内外の交流人口の活性化による地域活力の向上を図り、持続可能な町を目指すためその拠点となる道の駅を整備します。

道の駅で農産物をはじめとした地域産品を販売することは、生産者や出荷者の所得向上や道の駅での雇用創出につながります。 また、福島県内外の方々を対象としたイベントや物販を通した地域間交流や連携を図り、交流人口の増加につなげます。さらには、道の駅の来場者を町内の飲食店や商店、観光地、宿泊施設などに誘導することで、石川町全体の交流人口増加や消費拡大などの波及効果が期待できます。

石川町の強みを活かした４つの賑わいの場づくり

① 産業振興の場づくり

農産物をはじめとした地元産商品を物販施設で販売、飲食施設で提供

② 交流の場づくり

イベントや物販などを通した地域間交流、連携による交流人口増加

③ 魅力情報発信の場づくり

イベントや観光情報、重点施策など町の魅力的な情報を積極的に発信

④ ゲートウェイとしての場づくり

地域商社と連携し、温泉や観光資源、宿泊施設、飲食店などへの誘導

① 道の駅完成イメージ

石川町字大橋地内

② 施設の概要

・敷地面積　約20,000㎡、建築面積　997.86㎡、構造　木造、平屋
・駐車台数　普通車170台、大型14台、身障者3台、おもいやり2台
・トイレ　（男） 大4器、小8器、子ども1器、（女）14器、子ども1器
・物販施設　町内産の農産物や鮮魚、加工品などを販売する直売所
・飲食施設　地元の農産物を使ったメニューを提供するフードコート
・情報発信施設　地域商社サクライズが常駐して町内観光施設や宿泊施設へ誘導
・芝生広場　子どもの遊び場やイベントスペースなど様々な用途に使用できます。
・ドッグラン　大型犬と小型犬のスペースを区切ることで安心して遊ぶことができます。

【今後のスケジュール】

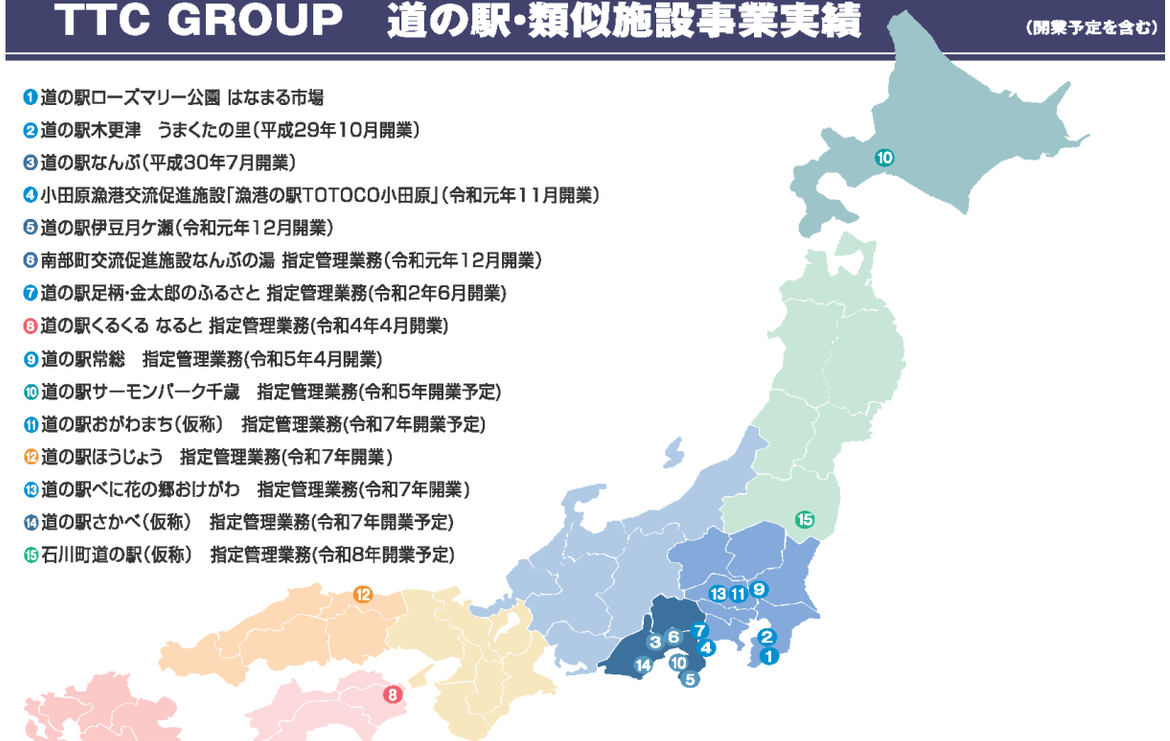
令和7年5月～	・造成工事（着工）、調整池改修工事（着工）、道路改良工事（着工）など
令和7年7月	・建築・外構工事（着工）
	・**出荷者説明会（町、株式会社TTC主催）**
	※詳細は6月の広報でお知らせします。
令和8年7月	**オープン（予定）**

株式会社ＴＴＣ（石川町道の駅運営事業者）

本町では、公民連携により全国で道の駅の運営実績がある株式会社TTC（静岡県熱海市）を道の駅の運営事業者として選定し、株式会社TTCが持つ独自の商品開発スキルや販売戦略などのノウハウを活かして地元企業や農家と連携して魅力ある道の駅の運営を行います。

TTC GROUP　道の駅・類似施設事業実績

（開業予定を含む）



商品開発実績
Product Development

物販商品

飲食メニュー

スイーツ・ファストフード

ベーカリー

出荷者説明会の開催について（予定）

石川町道の駅出荷者説明会を開催します。石川町道の駅への出荷を希望される方は、下記の日程でご都合の良い日にご参加ください。

なお、詳細は広報いしかわ6月に掲載しますのでそちらをご覧ください。

記

１　日　程

①令和7年7月1日（火）　15時00分～16時00分

②　　〃　　18時00分～19時00分

③令和7年7月2日（水）　15時00分～16時00分

④　　〃　　18時00分～19時00分

※どれも同じ内容です。上記の日程のうち、いずれか１回御参加ください。

２　場　所　石川町共同福祉施設　多目的ホール　（石川町字関根1）

３　対象者　道の駅内の物販スペースに農産物や加工品等の出荷を希望する方、その他道の駅に取引を希望する加工業者など

※石川町内外は問いません。

４　内　容　施設概要説明、スケジュール、石川町道の駅運営事業者の紹介

道の駅整備事業費及び財源等について

【事業費と町の負担額】

①道の駅整備総事業費　　約17億19万円

②財源（国の交付金など）　約13億3，550万円

③町の実質的な負担額　　約3億6，469万円

【納付金】

道の駅運営事業者が道の駅の年間売上の最大5%を町に納付する納付金制度を導入し、町が負担した道の駅整備費の回収を目指します。

【町負担上限額】

道の駅の事業期間30年間で納付される納付金3億7，500万円を道の駅整備町負担上限額に設定して事業を進めています。

石川町道の駅通信
第1号から第6号は
こちらのQRコードか
らご覧いただけます。